

## 天忠党の挙兵

貴嶺会の「[中山家及天忠党顕彰慰霊祭趣意書](#)」の中に次のような一文があります。

「天忠党総督でありました中山忠伊公は金剛山に於いて采配を振っていましたが、幕吏の詮索が厳しく遂に平野郷坂上邸書院にて壮烈なる自刃をもって最後を遂げられた」。

「天誅組の変」は中山忠光を主将としての挙兵・決起でしたが、その挙兵軍の全体の采配を、実際に現場の金剛山で振っていたのが天忠党総督の中山忠伊であったとしています。そしてその結果幕吏から追われ、中山忠伊は自刃で果てたとしているのです。これは紛れもない事実でしょう。

そしてこの事実を鑑みると、この挙兵は単に天忠党の下部組織の天誅組が先走って暴走で挙兵したことにはなりません。その総督の監督指揮下の挙兵なので天忠党の挙兵と見るのが妥当と思えます。